

- 管内 渡島管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（国語科、生活科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低）小学校（中）小学校（高）中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 災害に対し、主体的に行動できる力を育成する学習活動の工夫
- 噴火を想定した災害安全教育の取組と外部講師を活用した実践的な防災教室の実施

取組の実際

ねらい

- 災害時に主体的に行動できる力を育成する学習活動の工夫や、外部講師を招聘した防災教室を実施することで、児童の災害に対する意識を高めるとともに、危機対応能力を育成する。

内容

- 「北海Do防災かるた」を使った防災意識を高める授業（第1学年）
 - ・「北海Do防災かるた」を活用し、地震、津波、火山の噴火等についての防災意識を高めた。
- 災害に備えた防災グッズを作成する授業（第2学年）
 - ・災害時に必要な物について話し合い、新聞紙を使ったスリッパを作成した。
- 自衛隊や消防士の災害時の働きを体験する授業（第3学年・総合的な学習の時間）
 - ・自衛隊員や消防士を講師として招聘し、レスキュー車による救出活動の見学や給水車による給水体験を行った。
- 避難所での過ごし方を考える授業（第4学年・総合的な学習の時間）
 - ・被災時に避難所において起こる問題を考え、新聞紙や段ボール等を使い、避難所で使うことができるものを作成し、それらを使って快適に過ごすための方法について考えた。
- 近隣にある駒ヶ岳について学ぶ授業（第5学年・総合的な学習の時間）
 - ・近隣にある駒ヶ岳について、これまでの噴火の歴史やそのときの災害の状況などについて、富士山科学研究所の研究員を講師に学習を深めた。
- 防災について調べたことを交流する防災学習発表会の実施（第6学年・総合的な学習の時間）
 - ・これまで学習した噴火の仕組みや、町の防災対策など、グループで調べたことをまとめ、発表した。



【給水車を使った給水体験】



【身近な素材を使った簡易トイレの作成】



【防災学習発表会】

成果と課題

- 体験的な学習を取り入れたことで、児童は災害をより身近に捉えることができ、災害時に、主体的に行動できる力を身に付けるとともに、防災意識を高めることができた。
- 災害や防災についての専門家からの講話等により、児童は近隣における災害の歴史等を詳しく知るとともに、災害に対する危機対応能力を高めることができた。
- 地域や保護者との連携をより一層充実させ、合同避難訓練の実施など、より実践的な防災教育の取組を進める必要がある。